

兵庫

関西の
羅針盤

「すみません、ご協力ありがとうございます」といいます。病院の廊下で患者をよけながら進むのはパナソニックの病院内自律搬送ロボットHOSPI（ホスビー）。くるくる表情を変えて進む姿に、すれ違う人がほほ笑む。

看護師4時間分

病院では24時間体制で検体や薬品の搬送が必要。ソ

第8章 成長産業の芽 ③

医療・介護
ロボが助っ人



左 ロボット「HOSPI」は病院内で薬や検体を運ぶ（大阪府守口市の松下記念病院）
右 「SASUKE」は介護を受ける人をハンモックのように乗せて運び、車いすまで移す（大阪市）

フトウエアで経路を把握し、走行距離やセンサーの情報に頼りに目的の場所までたどり着く。まず松下記念病院（大阪府守口市）で導入し、当初は2台で1

たのはマッスル（大阪市、玉井博文社長）。クレーンで荷物のように移動させる方式を脱し、「お姫様だっこ」を参考にハンモックのように布に患者を乗せて移動する。「ロボット導入への抵抗感が強い」といわれる介護業界だが、全国の施設に100台弱を送り出したところ、「患者が痛

がらない」など続々と反響が寄せられている。積水ハウスとは事前に段差をなくしたりロボット収納スペースを設けたりと、住まいを意識した研究を始めた。例えは離島で手術中の

遠隔診療容易に

ソフトウエア開発のブリリアントサービス（大阪市、杉本礼彦代表取締役）はウエアラブル端末を医療に生かす。メガネ型端末「mirama（ミラマ）」はカメラと赤外線センサー付き。目の前でシャッターを切る動作をすれば撮影といった具合に装着者の手ぶりを感知し端末を操作する。遠隔地医療にも活用可能だ。例えば離島で手術中の

（西岡杏）

「...」